

D I A M エマージング債券ファンド

<愛称：ライジングネクスト>

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、外国籍投資信託を通じてエマージング諸国（新興国）の現地通貨建てソブリン債券等に実質的に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年7月13日～2020年1月14日

第136期	決算日：2019年8月13日	
第137期	決算日：2019年9月12日	
第138期	決算日：2019年10月15日	
第139期	決算日：2019年11月12日	
第140期	決算日：2019年12月12日	
第141期	決算日：2020年1月14日	
第141期末 (2020年1月14日)	基準価額	3,749円
	純資産総額	1,109百万円
第136期～ 第141期	騰落率	4.3%
	分配金合計	150円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角) はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

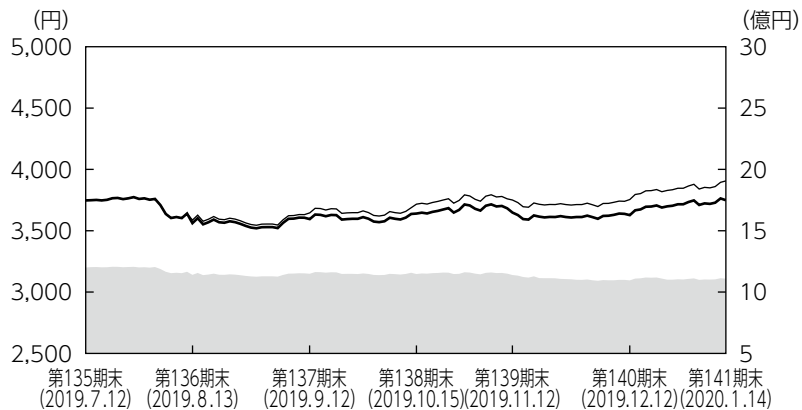
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第136期首 : 3,747円
 第141期末 : 3,749円
 (既払分配金150円)
 騰落率 : 4.3%
 (分配金再投資ベース)

■ 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

新興国債券市場が堅調に推移したことなどから基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ピムコケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンド J (JPY)	5.5%
国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	△0.7%

(注) ピムコケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンド J (JPY) の騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

1 万口当たりの費用明細

項目	第136期～第141期 (2019年7月13日 ～2020年1月14日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	34円	
(投信会社)	(22)	(0.590)	
(販売会社)	(12)	(0.333)	
(受託会社)	(1)	(0.022)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	34	0.945	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

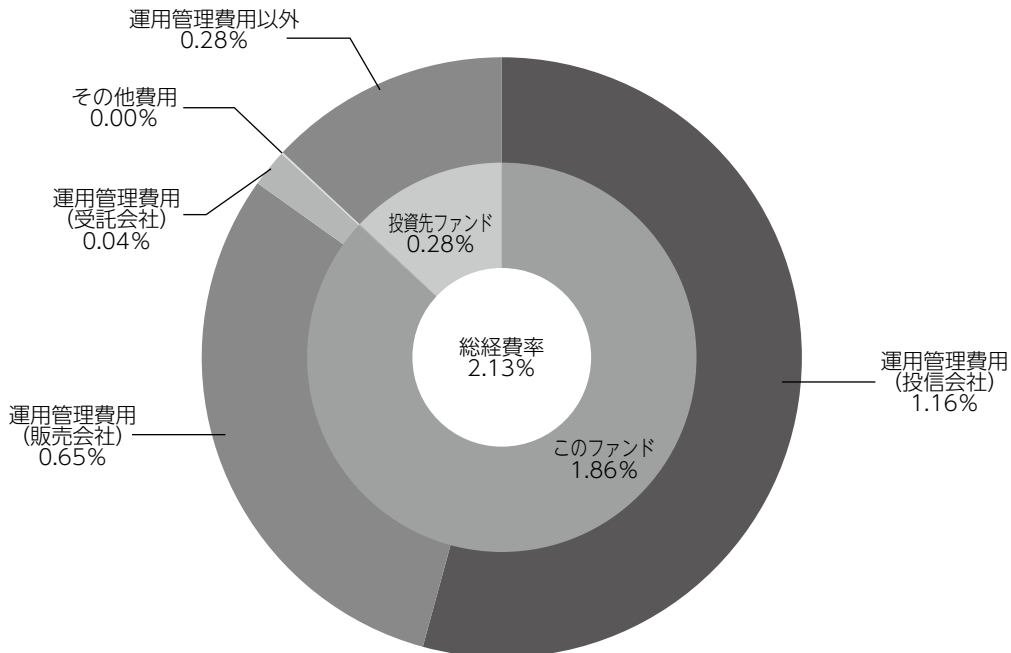
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.13%です。



総経費率 (①+②+③)	2.13%
①このファンドの費用の比率	1.86%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	—
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.28%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

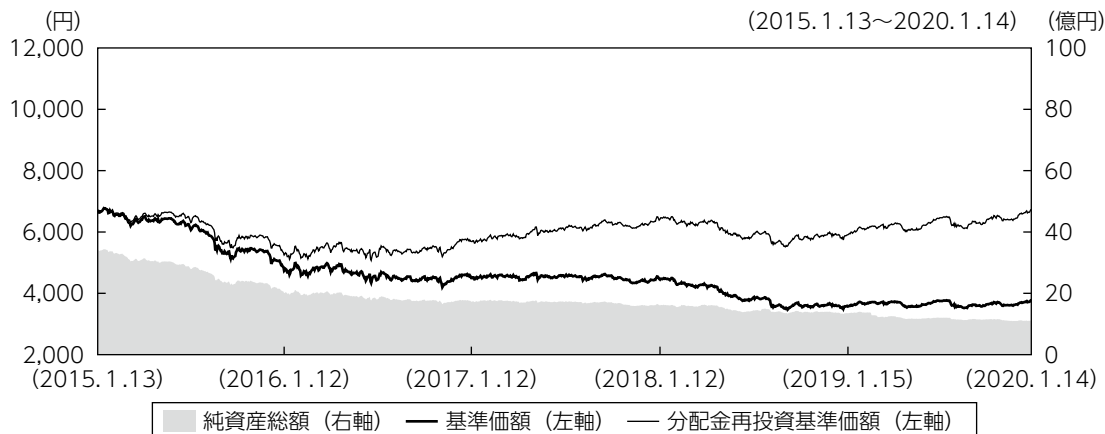
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ②の費用は、このファンドまたはこのファンドの投資対象である投資信託証券から直接的に支払われません。投資顧問報酬は、委託会社が受け取った報酬の中から支払うものとします。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2015年1月13日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2015年1月13日 期首	2016年1月12日 決算日	2017年1月12日 決算日	2018年1月12日 決算日	2019年1月15日 決算日	2020年1月14日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	6,698	4,732	4,499	4,444	3,572	3,749
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	600	600	600	525	300
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△21.6	8.4	12.8	△7.9	13.9
参考指数の騰落率	(%)	—	△18.2	10.8	13.3	△8.1	12.0
純資産総額	(百万円)	3,413	2,004	1,726	1,603	1,348	1,109

(注) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はJ PモルガンG B I - E Mグローバル・ディバーシファイド (円ベース、為替ヘッジなし) です。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。

投資環境

新興国債券市場（現地通貨ベース）は上昇しました。トルコやブラジルなど一部の新興国で利下げが実施されたことなどがプラス材料となり、前作成期末比で上昇しました。国別に見ると多くの国が良好なリターンとなる中、特にトルコはインフレ率の鈍化を受けて、作成中に複数回の利下げが実施されたことがプラス材料となり大きく上昇しました。一方、アルゼンチンは2019年8月の大統領選挙の予備選挙以降の信用不安や、資本規制の実施などが嫌気され大きく下落しました。

国内債券市場は下落（利回りは上昇）しました。作成期初から2019年8月にかけては、米中貿易摩擦の長期化懸念や、世界景気の先行き不透明感の高まり、米欧の各中央銀行の金融緩和観測などを背景に、10年国債利回りは概ね低下基調で推移しました。9月から作成期末にかけては、米中貿易摩擦の緩和期待に伴うリスク選好の動きや、国内債券需給の緩みが意識されたことなどから、利回りは上昇に転じました。

新興国の為替市場では、米中貿易摩擦の緊張緩和を背景とした投資家心理の改善が押し上げ要因となったものの、アルゼンチンペソなど一部の通貨が個別要因で大きく下落しました。通貨別で見ると、ロシアルーブルは追加金融緩和による景気の下支え期待や堅調な原油価格などを背景に上昇しました。インドネシアルピアはジョコ政権の首都移転や規制緩和政策が景気刺激効果をもたらすと期待感などから上昇しました。一方、アルゼンチンペソについては債券市場と同様に大きく下落しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

ピムコ ケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンドJ（JPY）の組入比率を原則として高位に維持し、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンドへの投資も行いました。

●ピムコ ケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンドJ（JPY）

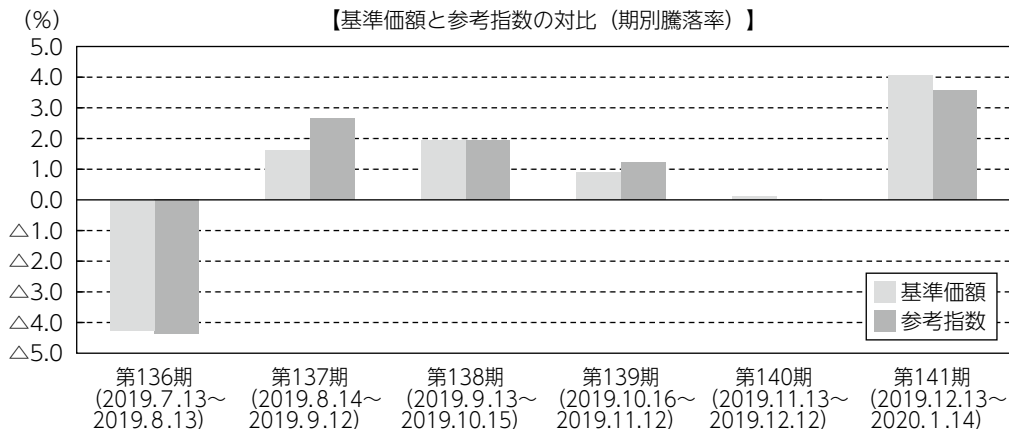
債券においては、金融緩和政策を継続しているロシアを積極姿勢としました。また、低インフレを背景に中央銀行が緩和スタンスを示していることを受けてペルーを積極姿勢としました。通貨については、好調な原油価格を背景に経済成長が堅調なコロンビアペソを積極姿勢としました。一方で、景気減速に加え格下げ懸念が根強い南アフリカランドを消極姿勢としました。

●国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

ベンチマークであるNOMUR A-BPI総合の銘柄入れ替えや、資金の流入・流出に応じて適宜債券の売買を実施し、リスク特性をベンチマークに極力一致させたポートフォリオを構築しました。

参考指数との差異

当ファンドはベンチマークを定めておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数であるJPモルガンGBIーEMグローバル・ディバーシファイド（円ベース、為替ヘッジなし）の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当完成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第136期	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期
	2019年7月13日 ~2019年8月13日	2019年8月14日 ~2019年9月12日	2019年9月13日 ~2019年10月15日	2019年10月16日 ~2019年11月12日	2019年11月13日 ~2019年12月12日	2019年12月13日 ~2020年1月14日
当期分配金（税引前）	25円	25円	25円	25円	25円	25円
対基準価額比率	0.70%	0.69%	0.68%	0.68%	0.68%	0.66%
当期の収益	25円	25円	25円	25円	25円	25円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	1,936円	1,951円	1,966円	1,979円	1,993円	2,009円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、ピムコ ケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンド J (J P Y) を高位に組入れることを基本とした運用を行います。

●ピムコ ケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンド J (J P Y)

新興諸国のファンダメンタルズは、インフレ圧力の落ち着きやバランスシートの健全化により改善が続いている状態にあるといえます。債券については、財政の健全性や金融緩和余地があることなどに着目しロシアを積極姿勢とします。通貨については、ブラジルレアルについて財政健全化とインフレ率の安定化が進む中、過去最低水準にある政策金利による景気刺激を背景に、同国の成長率加速が期待されることから積極姿勢とします。また投資通貨の多様性を意識しエジプトポンドへの投資を継続します。

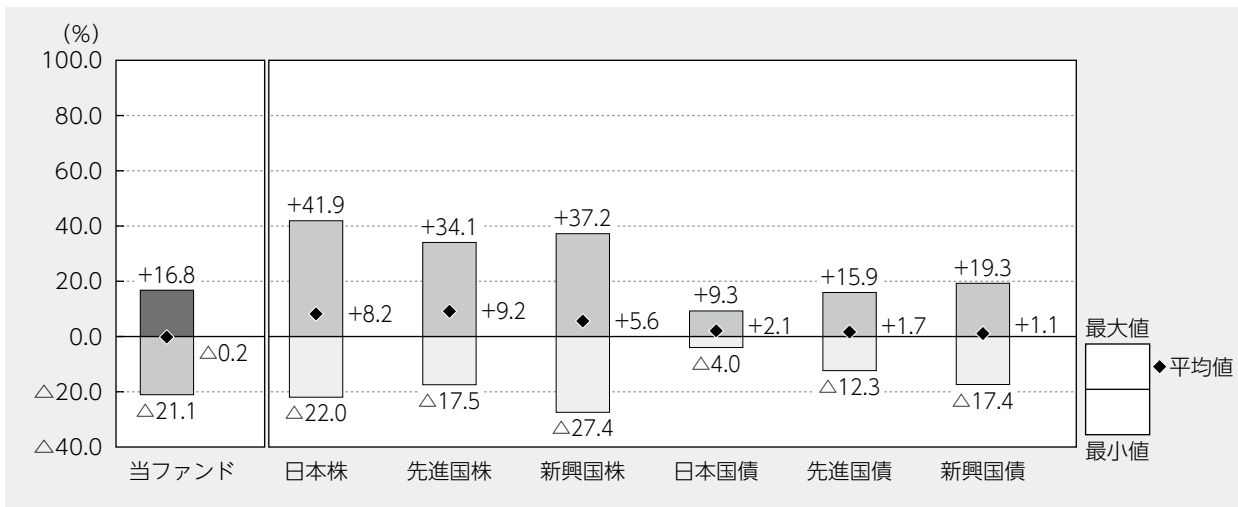
●国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

引き続き、ポートフォリオのリスク特性をベンチマークに極力一致させることで、ベンチマークに連動する投資成果をめざしたパッシブ運用を行います。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2008年3月28日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	<p>外国籍投資信託である「ピムコ ケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンド」(JPY) 受益証券および国内籍投資信託である「国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド」受益証券への投資を通じて、エマージング諸国(新興国)の現地通貨建てソブリン債券等に実質的な投資を行います。</p> <p>外国籍投資信託への投資比率は、通常の状態においては90%以上をめどとします。</p> <p>投資対象ファンドの組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</p>
分配方針	<p>決算日(原則として毎月12日。休業日の場合は翌営業日。)に、経費控除後の利子配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。毎月の決算時には、原則として利子配当等収益を中心に分配を行います。加えて、四半期(2月、5月、8月、11月)毎に売買益(評価益を含みます。)等から分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。</p>

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2015年1月～2019年12月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2020年1月14日現在)

◆組入ファンド等

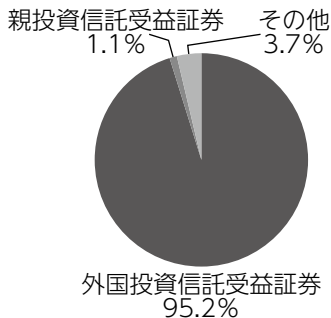
(組入ファンド数：2ファンド)

	第141期末
	2020年1月14日
ピムコケイマンエマーシングローカルボンドストラテジーファンドJ (JPY)	95.2%
国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	1.1
その他	3.7

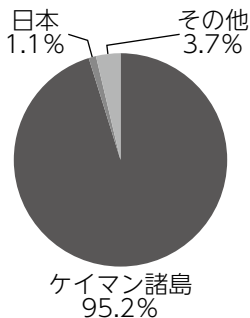
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

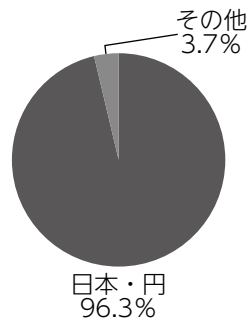
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

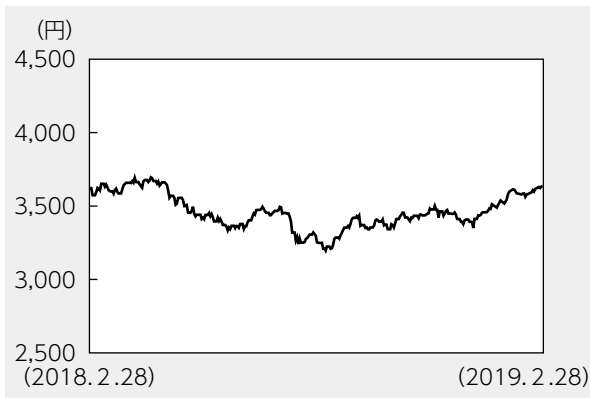
項目	第136期末	第137期末	第138期末	第139期末	第140期末	第141期末
	2019年8月13日	2019年9月12日	2019年10月15日	2019年11月12日	2019年12月12日	2020年1月14日
純資産総額	1,140,635,303円	1,149,075,617円	1,147,375,154円	1,138,637,342円	1,095,816,052円	1,109,100,919円
受益権総口数	3,202,485,856口	3,196,196,755口	3,152,070,029口	3,121,175,005口	3,021,365,663口	2,958,264,368口
1万口当たり基準価額	3,562円	3,595円	3,640円	3,648円	3,627円	3,749円

(注) 当作成期間 (第136期～第141期) 中における追加設定元本額は61,330,128円、同解約元本額は306,926,336円です。

組入ファンドの概要

【ピムコケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンド J (J P Y)】 (計算期間 2018年3月1日~2019年2月28日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

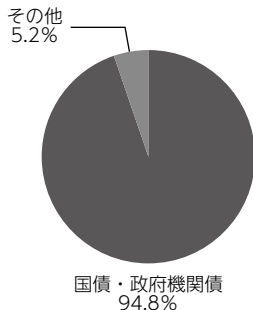
銘柄名	クーポン	償還日	通貨	組入比率 (%)
POLAND GOVERNMENT BOND	5.750%	2022/09/23	ポーランドズロチ	12.6
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	7.750%	2023/02/28	南アフリカランド	5.0
REPUBLIC OF PERU SR UNSEC 144A	8.200%	2026/08/12	ペルーソル	5.0
M A L A Y S I A INVESTMENT ISSUE	3.990%	2025/10/15	マレーシアリンギット	4.1
NIGERIA T - BILL	—	2019/09/19	ナイジェリアナイラ	3.6
H U N G A R Y GOVERNMENT BOND	3.500%	2020/06/24	ハンガリーフォリント	3.1
PERU (REP OF) GLBL SR UNSEC REGS	8.200%	2026/08/12	ペルーソル	3.0
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	9.000%	2040/01/31	南アフリカランド	2.8
THAILAND GOVERNMENT BOND	3.775%	2032/06/25	タイバーツ	2.6
INDONESIA GOVERNMENT	6.375%	2042/04/15	インドネシアルピア	2.5
組入銘柄数			78銘柄	

※比率は債券評価総額に対する各組入債券評価額の割合です。(C P等現金同等資産を除く。)

◆1口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

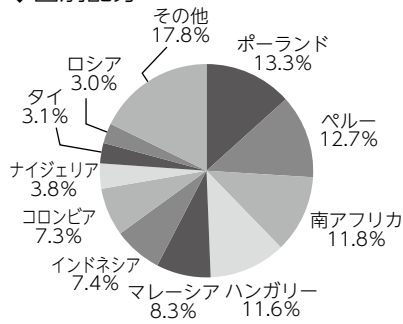
◆資産別配分



※1 比率は純資産総額に対する組入債券評価額の割合です。

※2 その他には現金およびC P等現金同等資産が含まれます。

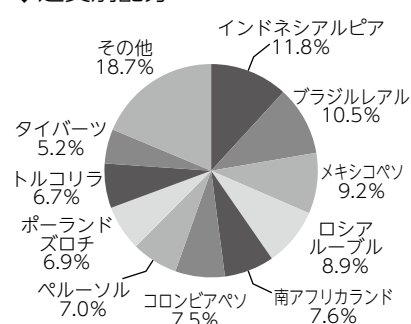
◆国別配分



※1 比率は純資産総額に対する組入債券評価額の割合です。

※2 その他には現金およびC P等現金同等資産が含まれます。

◆通貨別配分



※比率は純資産総額に対する組入債券および為替取引等の割合です。

(注1) 基準価額の推移はピムコ ケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンド J (J P Y) の計算期間 (決算日が休日の場合は前営業日まで) のものです。また、分配金を再投資したものとアセットマネジメントOneが作成したものです。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ピムコ ケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンドの決算日 (決算日が休日の場合は前営業日) 現在の状況を表示しております。

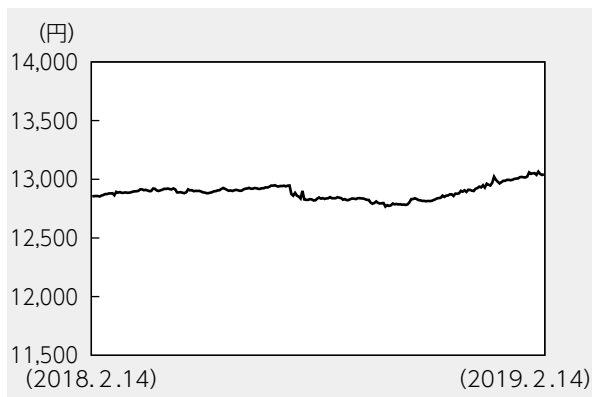
(注3) 国別配分、通貨別配分については上位11位以下をその他に含めて集計しています。

(注4) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、運用会社であるピムコ社 (PIMCO-Pacific Investment Management Company LLC) のデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) に記載されています。

【国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド】

(計算期間 2018年2月15日～2019年2月14日)

◆基準価額の推移



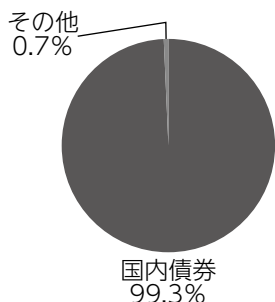
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
1 2 5回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	1.0%
3 5 0回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	1.0
3 4 4回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	1.0
3 4 5回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	0.9
3 4 2回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	0.9
3 4 1回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	0.9
3 3 2回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	0.9
3 4 3回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	0.9
3 4 0回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	0.9
3 3 9回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	0.9
組入銘柄数	422銘柄	

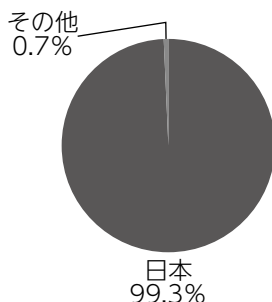
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000

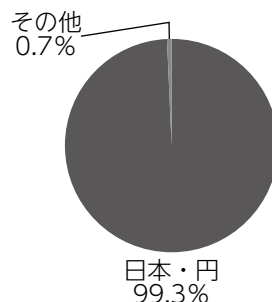
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(12,890円)で除して100を乗じたものです。なお、(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数です。その他は、信託事務の処理に要する諸費用等です。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

＜当ファンドの参考指数について＞

● J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイド（円ベース、為替ヘッジなし）

J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイドに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は J . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイド」は、J . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は J . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

